

波紋

新春号
No.211

平成15年
January 1月

PUBLISHER: 森松株式会社
EDITOR: 梅田文康



第21回家族忘年会在12/14(土) IL BAZAR 錦店にて行われました。

初めての幹事で何も分からず、諸先輩の指導のもと行き届かないところが多々有りましたが、何とか会を終える事が出来ました。特に若い、梅田さん、松井さん、谷澤さん、齋藤さん、森 伸子さん、小坂さんの応援は、非常に頼もしい助っ人でした。我々幹事は、シルバー軍団で陳腐なアイデアしかなく、さす

が若い方は違い斬新なアイデアが色々出て羨ましい限りでした。ゲーム(ロシアンルーレット)、景品(ベアーによる日帰りバスツアー、産地直送米)等。

ロシアンルーレットに参加され玄人跡の演技で会を盛り上げていただいた皆様、出席された皆様の協力があったからこそ無事に終わる事が出来ました。波紋を借りてお礼申し上げます。
近藤 謙(レインボー)



社長 森 直樹
naoki@morimatsu.net

明けておめでとうございます。本年度は日米どちらも引き続き先の見えないという点では同じかと思えます。昨月には9・11テロ以降の飛行機の旅客数が減少した影響を受け、業界二位のユナイテッド航空が米連邦破産法第11条の適用を申請し、事業再建をすることとなりました。大企業といえども安心できる時代は遠い昔になってしまったようです。企業が生き残るためには自社の強みを知り、またそれを他社との競争に勝つべく発展させていくことである、ということは周知のことですが、やはり勝つこと、生き残ること、それらに対する執着心が欠けていては様々な良い考えも実行するまでには至りません。負け続けている企業、勝つことを諦めた企業は消え去ります。また逆に成長を続けた企業が、一度成長が止まり後は横ばいとなるのは、そこまでが目標点であったからであり、そこからの新しい目標が見えなかったからであるということでしょう。それが近年の日本の企業ではなかったでしょうか。

2003年度モリマツは、リサイクル商品を初めとし、より最終消費者に近い部分での展開も広がっていきます。そしてこれから新たな動きとして会社の組織の見直しも必要になるでしょう。アメリカでも、モリマツUSAの商売の基盤を確立するべく現在進めております。会社は利益を出し社会貢献が出来てこそ存在する意味があると思います。そしてそのためにこれからも改善、改革が必要でしょう。また私自身も日々改善、成長していきたいと考えております。今年もよろしくお願ひします。

追記・11月に西海岸はサンディエゴへと出張してきました。空港に到着するなり椰子の木が立ち並ぶ常春の気温と景色に、マイナス以下になる寒さのNYから来た私には、三日間の日程をもう少し延長できないかと悩む程でした。

森松USA 新年の挨拶

『今年が普通の時ではない』

明けましておめでとうございます。今年ほどオメデトウの挨拶が言い辛い新年がありません。昨年末に不良債権(50万円)が発生し、2003年は倒産企業が増えると思われているからです。顧客数四百軒だから1%ぐらいしかたがないと諦めています。景気は今が一般的の常態と思えば良い。我々中小企業家は、世界の景気や、為替相場、証券市場を悲観していてもどうしようも無い事で、今の自社の環境、現在の自社が得意とする市場でどう戦略・戦術を立てて戦うかを考え、そして現実に行う事だと思えます。

20年前、不動産を買っても、株を買っても、ゴルフ会員権も毎年値上がりしました。何の自分の努力も無くして利益が出た時代でした。銀行から借りた努力だけでした。その前の時代は、生産力・効率アップの為に、そして新商品の開発、商品の品質向上の為に全員が頑張っていました。だから何もなかった時代のツケがこの最近の10年間ではないでしょうか？だから現在の不景気は当たり前だと思えます。自己啓発・啓蒙・進取の精神がない会社・個人が没落・転落するのは普通の出来事です。世の中や政治家、消費者、顧客のせいではないはず。自力更生、自助努力をしない個人も会社も落ちぶれて、破産してもこれは普通の出来事です。だから、現在の経済環境状況は日本にとってごく普通の状況だと思います。



森 信之

「普通の事を普通に出来る会社」に今年も成長します。今年も森松に注目ください。2003年もどうぞ宜しくお願いします。

『IMAGINE (ヤンパン)』

天国なんて無いんだ、とイメージしてこらね、簡単でしょう？
地底に地獄なんて無いんだ、とイメージしてこらねの上には、ただ空があるだけ
皆んな「今」を生きている、とイメージしてこらね
国境なんて無いんだ、と想像してこらね
難しい事じゃないでしょ、宗教も無い
殺し合いも死さえず、想像してこらね
皆んなが平和に生きるって、想像してこらね
私の事を「夢想家」と言うかも知れないけど
そう考えるのは、私一人じゃ無いはずだよ
いつか君も同じ様に考えるようになって
きつと世界は一つになれるんだよ

これはザ・ビートルズのメンバーだったジョン・レノンのIMAGINEの冒頭の部分の歌詞です。米国の2001・9・11事件後、平和を願う歌として再び脚光を浴び、よく聴かれる様になりました。
ザ・ビートルズの曲と言うと、YESTERDAYが良く知られていますが、他にもSOMETHINGやTHE LONG & WINDING ROADなど、素敵で曲が素晴らしい有りますよ。それらは決して難しい英語で書かれたものではなく、中学校で習った英語で充分意味がわかるやさしい単語で書かれ、「演歌」の別れ、涙の世界と違った、色々の広い世界・心情が歌われ、きつと貴方の心境にピッタリの曲が見つかるはず。 (Jポップも源流は、ザ・ビートルズに負うところ大でしょう。) 人種や年代を超えて支持されるこれらの曲を、今度は「英語」でトライしてみませんか？きつと一曲は聴いた事あるけど、こんな意味を歌った「入り英語」と判れば、益々気になる英語にも強くなれるかも…。



上田 邦男 (レインボー)

『営業ツール』

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変厳しい年でしたが、今年はどうなるのでしょうか？さて、「営業の七つ道具」という事をよく言いますが、森松には他社(同業)にない大いに役立つ営業ツールが沢山あります。私なりに数点紹介させていただきますと…
◎ 名刺：森松オリジナル製。明和Gさんの3Dで作られ、非常にインパクトが強い名刺です。初期タイプから今は、インクジェットプリンターにてダイレクト印刷できるものを使用しています。デザインは顔写真や愛知万博のキャラクターが描かれています。この名刺のお陰で、本題に入る前に少なくとも3分以上は話題にできます。新規開拓の場合とても助かります。中には、この名刺から即、商品企画に進む事もあり、また、ある会合では、大手文具メーカーであるK会長、社長に挨拶した際も、大変印象づける事ができました。逆に名刺交換した時に無反応だった場合、その人の感性を疑ってしまう事もありますけど。

◎ 波紋(社内報)：以前、私も伊東さんもこのコーナーで取り上げた事がありますが、遠方のお客様やご無沙汰しがちなお客様には大いに役立つと思います。営業マンが伝えなくても毎月必ず社内の出来事を替わりに伝えてくれますから、久しぶりにお会いしても身近な話題となります。
◎ 元氣が出る森松展：昨年で10回を無事終えましたが、数年前からこの展示場が当社の5Fにて常設ブースになっておりますので展示会が終わってからも見学できます。約30社以上の仕入先様の商品と一緒に紹介でき、実際に商品を見て触って頂くことができます。各ブースが仕入先様の簡易ショールームとなっております。
◎ 森松ホームページ：会社案内もありますが、取扱商品や設備などを詳しく紹介する場合には大いに役立ちます。時にはモバイルPCにて(これを持ち歩いていると結構、ハタタリが効きますが…)実際に見て頂いてもらう事もあります。最近では、森松HP内のライブが結構、話題になります。
ざつと、簡単に紹介しましたが、他にもまだ沢山あると思います。今年も厳しい年と思いますが、この道具を大いに活用し新市場、新規開拓に努めます。もし、数字が伸びなかつたら…？ あとは「執念」の問題でしょう！ 皆さん、今年もご指導、ご協力の程、宜しくお願い致します。



安井 浩一 (プロジェクトA)



新入社員紹介
 よろしくお願ひします。

みなさんはじめまして。11月より森松に入社することになりました、三浦政幸です。現在は茨城県守谷市に住んでおります。今後、この自宅を拠点に特販部関東営業所という形で関東を中心に営業活動をしてまいります。

最近、日本経済が低迷し会社を取り巻く環境が一変し、厳しいものになっていると思います。この厳しい環境を乗り越えるためには、時代の構造変化をしっかりとつかみ、この変化にベクトルを合わせ、気持ちを切り替え、時代の変化に通用する能力を身につけなければなりません。しかし、私はこの業界においては全くの素人です。身につけなくてはいけない事が多々あります。社員の皆様、取引先の皆様にご迷惑をかける事があるかと思いますが、1日も早く一人前の森松マンになれる様頑張りますので宜しくお願ひ致します。

三浦 政幸 (プロジェクト㊸)



「おばんです」

黄金の穂波に囲まれること27年、米処宮城からやって参りました齋藤です。人口2万人の町からこの大都会へ来るときは、まさに「おら名古屋さ行くだ」(吉幾三)。ベゴこそ望まなかったものの、アパート探しでは「田んぼのあるところ」とお願ひしていました…。青色の新幹線がまぶしく見えたものです。

10月から森松に入社しましたが、それまでは中国の吉林省に4年留学していました。これまたやはり東北で、どうも米がキーワードのようですね。バラック小屋と高層ビルが隣に並び、ベンツと馬車が並走するこの町は、日本とは縁の深い地域です。上海とも北京とも似つかないこの地方都市は、まさに現代中国の縮図と言えるでしょう。現地ガイドもしていましたので、これから行かれる方はぜひ一声かけてください。

プラスチックについてはこれからですが、製造にとって切り離せない中国との関係を、時々刻々と変わる情勢を見据えて取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします！

齋藤 浩一 (プロジェクト㊸)



このままの状態が永遠に続けば一番いいことだけど、こんな健康だと思つている体の中の細胞は若い頃とは違つてきているのだから。とにかく可愛い子供達が成人するまでは元気でいたいものである。

こんな私が健康に気にして続けているのは、時々ヤクルトを飲むことぐらいかな。今年の春頃から奥さんがヤクルトで働きだしたこともあり、奥さんに乳酸菌が体にとてもよいということとを説明を受けるものの、冷蔵庫の中のヤクルトはほとんど子供が飲んでしまうので私は時々しか飲めないのである。ただヤクルトのおかげか子供達は確かに風邪をひきにくくなったのも事実である。まあ、親馬鹿な私としては子供が元気なのがなによりである。そして私の健康の秘訣は子供の笑顔だと思ふ。

「ただこれを読んだ奥さんはきつと「私のことはどうせ二の次だもんね」と怒りそう。怖い。ただ奥さんは決してそんなことはございません。子供が独立したら、その時は貴方の笑顔が私の健康の秘訣になるはずですよ。」

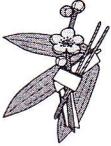
とにかく世の男性は女性の協力なくして生きていけないのですからこれからも健康でいてください。

長崎 修 (レインボー)

『健康にしよう』

最近自分も中年と言われる年齢に近付いたことや、巷での健康ブームということもあり時々「健康」について考える事がある。

よく、現代はストレス社会で、そのストレスが体にとつても良くない事や、オゾン層の破壊により紫外線の恐怖などマスクミなどにも取り上げられるが、実際のところいちいち気にしていられないのも事実である。紫外線が怖いからといって日焼け止めクリームを塗っている男性は少ないだろうし、ストレスに至っては現代人だけがストレスにさらされている訳では無く、昔の人にだって今とは違うストレスがあつただろう。なんて思えるのもきつと、今のところ有り難いことに、自分では何処が悪いというのは、あまり感じていない御蔭だろう。

29日(水)	15日(水)	14日(火)	13日(月)	11日(土)	8日(水)	7日(火)	6日(月)	3日(金)	1日(水)	2003年 1月の予定 
上田邦男さん誕生日	シアアイ化成賀詞交換会	誕生会	成人の日	第二土曜休み	アキレス賀詞交換会	津田 巨さん誕生日	元気が出る信念会	吉岡孝記さん誕生日	元旦	
生産会議	11時30分～13時00分	11時30分～13時30分			11時30分～13時30分	18時00分～				
15時00分～19時00分	17時00分～21時30分	18時00分～21時00分			18時00分～21時00分					
18時10分～	中国情報会	生地卸賀詞交換会			齋藤浩一さん誕生日					
	11時30分～13時00分	17時00分～21時30分			11時30分～13時30分					
	18時00分～	18時00分～21時00分			11時30分～13時30分					
	11時30分～13時00分	17時00分～21時30分			11時30分～13時30分					
	18時00分～	18時00分～21時00分			11時30分～13時30分					
	11時30分～13時00分	17時00分～21時30分			11時30分～13時30分					

サークル別読書感想文タイトル表

サークル名: **レインボー**
 タイトル名: **モノづくり 解体新書**
 著者名: **日刊工業新聞社**
 頁数: **144頁**



サークル名: **プロジェクト8**
 タイトル名: **プロジェクトX ザ・マン**
 著者名: **須磨久善**
 頁数: **194頁**



サークル名: **ユニティー**
 タイトル名: **ディズニー方式が会社を変える**
 著者名: **ヒル・カホタクリ / リン・ジャンクソン**
 頁数: **245頁**



サークル名: **ドリーム6**
 タイトル名: **トヨタはいかにして「最強の車」をつくったか**
 著者名: **片山 修**
 頁数: **294頁**



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
 昨年6月より『波紋』の編集長を務めさせて頂いていますが、このように無事新春号を発行することができ、大変嬉しく思います。

例えば、編集長を引き継いだ当初は前任者の妹尾さんが残してくれたマニュアルをもとに手探りでやっていたような気がします。一編集委員として波紋作りに参加していた時とは違い、責任が全て自分にかかるようになり、大変な事もありましたが、会長・ちかさんに最終チェックをしてもらい実際に紙面が出来上がると、一委員としてやって来た時とは全く違う喜びも味わえました。

新春号より、近藤さん・齋藤さんといった新メンバーも加わり、これまで無い新しい紙面作りに取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様、今後ともよろしくお

願致します。

梅田 文康
 (ユニティー)

